

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

フォルヴィア・エス・イー（証券コード：-）

【据置】

外貨建長期発行体格付	A-
格付の見通し	安定的
債券格付	A-

■格付事由

- フランスに本社を置く自動車部品のグローバル企業。ユーロネクスト・パリ上場。子会社 HELLA は独立した上場会社だが、当社は HELLA の発行済み株式の 81.6% を保有する支配株主であるほか、同社を完全連結した財務諸表に基づき資金調達を行っていること、事業親和性が高いことから、グループの一体性は高いと JCR はみている。グループの事業ポートフォリオはシート、内装、クリーンモビリティ（排気部品）、エレクトロニクス、ライティング（照明機器）、ライフサイクルソリューション（アフターサービス）の 6 部門に分散している。地域別ではアジア、部門としてはエレクトロニクス部門に注力している。80 社を超える分散した顧客基盤を持ち、主要な完成車メーカーと長年に亘り安定した取引関係を維持してきた。近年では中国の完成車メーカーとの提携を強化している。
- 格付は堅固で分散した顧客基盤、グローバルな生産体制、事業ポートフォリオの分散、EV 化など事業環境変化への対応力、債務圧縮に対するコミットメントなど慎重な財務方針への評価を反映している。他方、過去の買収に伴う借入負担、市場環境に左右されやすい利益の変動性が格付の制約要因である。業績は底堅く推移しているほか、債務圧縮に対するコミットメントを堅持しており、格付を据置き、見通しを安定的とした。
- 23/12 期の業績は売上 272 億ユーロ（前期比+10.9%）、営業利益 14 億ユーロ（前期比+35.7%）、営業利益率 5.3%（前期 4.3%）と堅調だった。分散したポートフォリオにより事業や地域間の業績変動が平準化され、相応の収益力を維持した。24/12 期は、世界の自動車生産台数の低迷が見込まれるほか、欧州の余剰生産能力を最適化すべく開始したプロジェクト EU-FORWARD に伴う費用や、北米内装部門で生じた一過性費用などが負担となる。しかしながら、HELLA との統合シナジーなどがプラス寄与し、売上は前年並み、営業利益率は 5.6% 程度と底堅い業績が見込まれる。当社は常にコスト削減圧力と競争に晒されているが、EU-FORWARD や HELLA とのコストシナジーにより引き続き営業利益率の向上が図れるか、今後の動向を見守っていく。
- 23 年末の自己資本比率（純資産ベース）は 20.2% と改善の余地がある。のれん勘定が 51 億ユーロと純資産額比大きい点には注意を要すが、業績は堅調で大きな減損が生じるリスクは限定的とみている。23/12 期のネット有利子負債/EBITDA 倍率は 2.1 倍で予想通りの水準に収まった。中期計画では 25/12 期のネット有利子負債/EBITDA 倍率を 1.5 倍とする目標である。業績は市場環境の影響を受けやすいが、10 億ユーロの追加資産売却計画を発表するなど債務圧縮に対するコミットメントは強く、JCR では目標達成の可能性は高いとみている。流動性は 24 年 6 月末時点で未使用のコミットメントラインを含め 62 億ユーロあり十分な水準とみている。社債償還や銀行借入期日に対しても前倒しで対応を行っている。ファクタリングやリバースファクタリングを通じた短期調達の状況にも著変はみられない。

（担当）堀田 正人・上野 倫久

■ 格付対象

発行体：フォルヴィア・エス・イー（FORVIA SE）

【据置】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	A-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第1回円貨社債（2023）	117億円	2023年12月15日	2026年3月13日	2.48%	A-
第2回円貨社債（2023）	68億円	2023年12月15日	2027年3月15日	2.81%	A-
第4回円貨社債（2023）	7億円	2023年12月15日	2028年12月15日	3.19%	A-

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2024年9月3日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：杉浦 輝一
主任格付アナリスト：堀田 正人
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年2月1日）、「自動車部品」（2023年8月1日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） フォルヴィア・エス・イー（FORVIA SE）
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■ NRSRO 登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル